



株式会社キトー
2021年3月期 事業レポート
[2020年4月1日](#) ▶ [2021年3月31日](#)

証券コード：6409

KITO



代表取締役社長 鬼頭 芳雄

平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2021年3月期は、5カ年の中期経営計画の最終年度でした。本来であれば、新年度の4月から新しい中期経営計画をスタートさせるところですが、足もとの需要や景況感に依然として不透明な要素が大きいことから、来年4月のスタートを目指します。今年度は計画策定のための準備期間と位置づけました。

終了した中期経営計画は、規模の拡大をはかりつつも、人への投資やグローバル組織への転換といった、いわば質と量の両面を訴求した、欲張った内容でした。この5カ年での成果としては、営業キャッシュフローが1.5倍に拡大し、営業利益率、ROEともに改善しています。組織のグローバル化では、海外子会社へのガバナンスを強化しつつ、各社の持つ専門性や強みを、キトーグループ全

体で連携し活用する組織構造が、機能し始めていますと実感しています。

一方で課題も残りました。定量面ではEBITDAで130億円の実現が大きな目標でしたが、外部環境の影響が大きかったとは言え、2019年3月期の92億円をピークに、残念ながら過去2年間で減少傾向となりました。定性面では、ここ数年で獲得した欧州子会社の買収後の統合プランや、事業拡大に向けた新製品投入などに遅れが出ています。買収による事業拡大によって悪化した資本効率の改善にも、引き続き取り組んでまいります。

積み残した課題や、予想される外部環境の変化を勘案し、キトーグループが将来目指すべきビジネスの方向性と、社会における存在意義について、グループ横断的に議論を開始しています。

新しい中期経営計画の方向性として、いくつかの指針を考えています。まず、経営の質的な向上と、グローバル戦略のさらなる強化です。サステナビリティ経営への要求が高まるなか、いかにキトーの事業が将来も社会から必要とされる事業であり続けることができるのか、事業を通じての社会への貢献を含め、あらためて再定義します。海外子会社間のさらなる連携、ダイバーシティに富んだ組織の強化をはかってまいります。

次に、お客様にとってのキトーブランドの価値向上です。製品のさらなる差別化の追求に加えて、見積りからアフターサービスまで、一連のユーザーサポートを強化します。具体的には、研修プログラムの充実、eコマースによる利便性向上、製品・サービス両面でのデジタル技術の活用などにより、ユーザーエクスペリエンスを最大化し、キトーが業界の変化を先取りする形でイノベーションを追求してまいります。

こうした指針を基軸にして、近い将来に時価総額で1,000億円を超えるような事業をつくっていきたいと考えております。

2021年3月期の決算結果を動画でご覧いただけます。



2022年3月期 業績予想

	2022.3	2021.3	前期比
売上高	550億円	518.0億円	+6.2%
営業利益	50億円	44.5億円	+12.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	32億円	23.4億円	+36.5%

概況

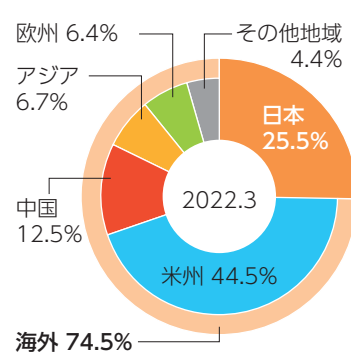
- 経済活動の回復と、各国のインフラ整備需要の拡大を着実に捉えることで、コロナ禍以前の水準へと業績回復を目指します。
- 生産性向上のための設備投資を継続し、環境に配慮したサプライチェーンに取り組みます。

地域別売上高

(単位：億円)

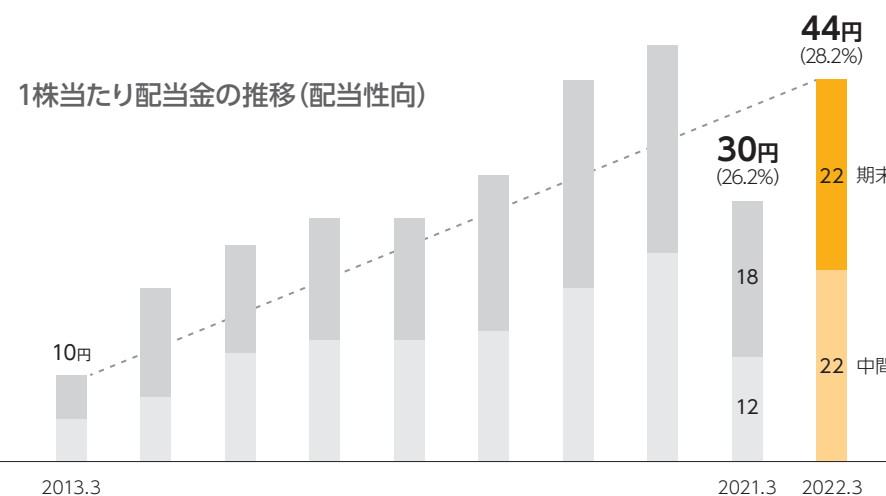
	2022.3	2021.3	前期比
日本	140	130.1	+7.6%
米州	245	234.0	+4.7%
中国	69	65.9	+4.6%
アジア	37	35.4	+4.3%
欧州	35	33.2	+5.2%
その他地域	24	19.1	+25.5%

地域別売上高構成比



2022年3月期 配当予想

2022年3月期の配当計画は、
前期末からの増配基調を継続し、
中間配当、期末配当ともに1株当たり22円へと
増配を見込んでいます。



柔軟な生産体制

キトーのものづくりの源泉である山梨本社工場では、2019年度を「ものづくり改革の元年」と位置づけ、生産性向上、生産技術、環境対応など生産基盤の強化と、人材育成の取り組みを積極的に推進しています。



新アルミ加工ライン

ロボットとキトーオートクレーンの協働作業で、部品加工と段取りの自動化、省人化を実現しました。最新設備と治工具によって、マシニング加工の最速化を目指しています。

新熱処理ライン

真空状態にて浸炭熱処理が行える炉を導入しました。安全性や品質向上はもちろんのこと、待機電力の削減など、省エネルギーにも貢献します。



工場の今がわかる!スペシャル動画はこちら



時代のニーズをとらえた製品ラインアップ

新製品の電動チェーンバランサと、ポータガントリーが発売されました。機能性と操作性に優れた電動チェーンバランサ、持ち運びが可能なポータガントリーは軽量で使う場所を選びません。どちらも作業効率の向上を実現します。



電動チェーンバランサは、作業用途によって切り替えが可能な2種類の運転モードを搭載します。つり荷を直接持って自在に動かすことができるので、微細な位置決め作業に最適です。



アルミ製のポータガントリーは、軽量・コンパクト。ひとりで簡単に組み立てることができます。発売から既にたくさんのお客様に採用いただいています。

開発チーム

こんなところでもキトー製品が！

キトーの製品は、 あらゆる業界で幅広く活躍しています。



■ 船のタラップを上げ下ろすチェーンブロック

元南極観測船「SHIRASE」の船外には、キトーの電気チェーンブロックが設置され、タラップの上げ下ろしや、荷物の積み込み用として活躍しています。船内は当時の状態を残したまま修繕を行い、ガイドによる船内見学ツアーなどが開催されています。今はやむなく中止していますが、再開が待たれるところですね。

製造工場や建設現場でよく使われているイメージのあるキトー製品。

今回は日本の元南極観測船「SHIRASE」、りんごの加工工場、インドのエンジン製造工場の事例をご紹介します。

■ りんごを運ぶチェーンブロック

りんごの生産量が日本一の青森県。弘前市にあるりんご農園の加工工場では、キトーの食品業界仕様のホイストがりんごを脱気装置へと搬送しています。りんごは空気を抜くことで、煮てもトロトロになり過ぎず、本来の食感が楽しめるそうです。



食品を扱う工場は厳しい衛生管理が求められ、機械や設備への安全管理も徹底しています。電気チェーンブロックには異物が混入しないよう、ダストパンを取り付けています。

■ インドでのライトクレーンPROシステム受注第1号！



インドでのライトクレーンPROシステムの受注第1号は、日本の大手重工メーカーとインド企業の合併会社でした。この工場ではディーゼルエンジンを製造しており、その搬送作業に使われます。これまではスチール製のクレーンが使われていたため、アルミ製クレーンの軽量で操作性に優れる特長を訴求し、受注に至りました。

Kito's メディア

ウェブサイト、ソーシャルメディアを活用してIR情報から製品情報、ものづくりの最前線の様子まで、キトーグループの活動の様子を積極的に発信しています。

株主様、投資家からの質問にお答えする

IR担当者に聞け!



2020年12月22日 13:04

Q | 第2四半期までの業績を拝見すると、利益の創出に注力されていますが、その具体策を教えてください。

A | 営業利益については、第1四半期は24%の減収ながらも黒字を確保し、上半期では業績予想を上方修正するに至りました。利益創出は、全社横断的な原価と販管費のコントロール強化が大きな要因ですが、販売面においては、コロナ禍で市況が変動するなか、価格競争に陥ることなく、キトー製品の付加価値をしっかりと訴求することができました。製造面においては、2017年度に導入した基幹システムの効果により、製造工程の見える化が進んだことで、生産現場にコスト意識が浸透。徹底的なムダの排除、生産性向上などの成果がありました。

2021年02月02日 15:10

Q | キトーの事業における社会貢献の特長は?

A | 安全性と耐久性を追求した当社製品は「重力からの解放」という普遍的な課題を解決します。社会インフラの整備から、ものづくりの現場まで、あらゆる産業のヒューマンアシスト機器として活躍しています。また、無駄を排したクリーンな生産・供給プロセスによって、環境負荷の低減に努め、幅広く社会に貢献しております。

ソーシャル

メディア

下半期の注目記事をご紹介します!

キトーの
公式
アカウント



お客様の安全が私たちの願いです。



永久磁石で安心・安全!平鋼も丸鋼もこの一台で。



MOVIE

最新動画、注目動画をピックアップ



その他の動画は
こちらからご覧
いただけます。



キトーポータガントリー (ラピッドタイプ) 90秒で組立完了!

| Column | 数字で見るキトー

キトーのビジネスの特長やその進化について、数字を使ってご説明します。

2.8dピッチ = チェーンリンクの 長手方向の内側寸法

ピッチとはチェーンリンクの長手方向の内側寸法のことです。3dピッチ（チェーン線径の3倍の長さ）が一般的ですが、キトーのレバブロックや電気チェーンブロックでは、最適形状として2.8dピッチを採用しています。ピッチを短くすることで、チェーンを巻き取る滑車（ロードシーブ）も小さくなり、結果としてコンパクトな製品に仕上がります。製品の小型化は、作業者にとっても取り扱いやすく、作業の安全性にもつながります。

| 表紙について

元南極観測船「SHIRASE」

日本の三代目となる南極観測船「しらせ」は、日本と南極の間を25回も往復し、偉業を成し遂げました。退役したのち、船名を「SHIRASE」に改称して、現在は千葉・船橋港に係留されています。



株式メモ

基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
【郵便物送付先】	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
【電話照会先】	0120-782-031
【インターネットホームページURL】	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株式会社 キトー コーポレート・コミュニケーション部

キトー IR 検索 <https://kito.com/jp/ir>

東京本社 〒163-0809
東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル9階
TEL.03-5908-0161

本社工場 〒409-3853
山梨県中巨摩郡昭和町築地新居2000
TEL.055-275-7521